

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成21年7月17日

施設名	高知県立のいち動物公園	所管課名	土木部 公園下水道課
-----	-------------	------	---------------

1 施設の概要

指定管理者名	財団法人 のいち動物公園協会	指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日 平成21年4月1日～平成26年3月31日
施設所在地	高知県香南市野市町大谷738		
事業内容	1. 公園の利用許可及び利用料金の徴収 2. 公園の施設及び物品の維持管理 3. 公園の設置目的を達成するための企画及び実施 4. 動物の飼育と展示 5. 種の保存、自然保護、調査研究 6. 県民やボランティア等との協働事業の推進 7. 公園に関する要望及び苦情の処理 8. 緊急対応体制の確立 9. 清掃及び植栽管理 10. 警備業務		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 【公園全体】 面積：19.9ha 開館時間：9:30～17:00 休園日：月曜日、12月27日～1月1日 入園料：大人450円(年間1,500円)高校生以下無料		
職員体制	プロパー職員：24名、県派遣職員：2名、非常勤職員：5名、臨時職員：8名、合計：39名		

2 収支の状況

単位：円

		19年度(決算)	20年度(決算)	21年度(予算)
収入	県支出金	329,200,655	324,521,556	327,925,000
	利用料	26,308,560	24,243,060	27,181,000
	その他	0		
	収入計 (a)	355,509,215	348,764,616	355,106,000
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	169,786,029	163,187,944	163,338,000
	人件費	185,723,186	185,576,672	191,768,000
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	355,509,215	348,764,616	355,106,000

3 利用状況

	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	145,054	131,420	170,000
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)		
	<p>平成18年度のアンケート結果をふまえた、「のいち動物公園の将来計画」を平成20年3月に策定し、利用者の満足度の向上を図るための指針を整備し、施設整備等のハード面からの提案や、希少動物の繁殖の取り組みを実施し成果を上げている。</p>		
	○ その他		
	<p>来園者の利用満足度の向上のために、年間を通じて様々なイベントの実施に取り組んでいる。新しい企画として、「しあわせ動物グランプリ」において、展示動物の中で最も幸せと思われる動物への投票の実施及び展示を行い動物愛護の大切さを伝える取り組みを行っている。</p>		

4 平成20年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<p>概ね事業計画に基づく適正な運営管理が実施されていた。</p> <p>動物の飼育と展示では、動物の繁殖による様々な取り組みを実施した。特にチンパンジーの繁殖については、県外の施設との個体の相互移動により群れの再編成を行い、繁殖に繋がる成果を収めている。</p> <p>また、新規動物の導入では、地元小学校の児童を招待し、歓迎セレモニーを行うとともに、職場体験や環境教育の場所として学校関係者との協働を図っている。</p>
②利用者サービスの維持向上	<p>平成20年3月に策定した「のいち動物公園の将来計画」に基づき、利用者満足度の向上を図るために、レクリエーションの場、教育の場、種の保存・自然保護の場として動物公園の役割を果たす取り組みを進めている。</p> <p>教育の場として、来園する団体へのレクチャーも今期の指定管理期間で、平成18年度 37件 1,420名、平成19年度 57件 2,444名、平成20年度 45件 2,512名 の実施実績があり、また、職場体験や実習の受け入れも実施している。</p> <p>一方動物科学館は展示内容の見直しの必要性があることから、展示施設や運営等今後の方向性を検討する必要がある。</p> <p>また、種の保存・自然保護の場としては、平成20年度に県外施設とのチンパンジーの個体移動を実施し、繁殖に繋がる成果となっている。</p> <p>しかしながら、レクリエーションの場としての役割については、平成20年度からハード面で予算措置を伴う施設整備の事業が進んでおり、平成23年度の開園20周年も念頭に入れた、来園者の満足度の向上を目指して、のいち動物公園として大きな節目を迎えることを意識して、県の関係機関とも連携して事業を進めて欲しい。</p>
③利用実績	<p>年間を通じたイベントの実施、学校機関への訪問活動及び近隣の観光施設や観光団体と連携した利用促進の取り組みも行っているところであるが、来園者は前年度実績の91%にとどまり、今期の指定管理期間を通して、年々減少傾向にある。</p> <p>天候、教育機関のカリキュラムの変化、少子化、ガソリンの高騰等様々な要因が考えられるが、指定管理者として実施した取り組みについて、業務報告に分析結果を明記し、次年度への課題として取り組んで欲しい。</p>
④収支の状況	<p>精算時に多額の戻入があり、予算執行管理に課題がある。</p> <p>代行料の補正額算出後に執行管理する仕組みを考えて欲しい。</p>
総合評価	<p>B</p> <p>概ね協定書及び事業計画に基づき適正に管理運営がされたと認められる。</p> <p>来園者の利用満足度の向上のために、「のいち動物公園の将来計画」を策定し、計画の実現に向けた取り組みが始動していることが評価できる。</p>

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの